

一生に一度の感動を！
ラグビー・フットボール部

トライを目指せ！
玖珠少年ラグビースカールの選手たち

議会だより

玖珠

もくじ

こんなことを聞きました(議案質疑)	2P
こんなことを審議しました(委員会報告) 3～6P	
議員派遣	7P
5月・6月議会で決まったこと	8・9P
一般質問(7名)	10～13P
シリーズ“ガンバリよるばい”	14P

発行／大分県玖珠町議会 ● 編集／議会広報特別委員会 ● 印刷／有株式会社 太陽印刷社

〒879-4492 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268-5 TEL 0973・72・1507 HP <http://www.town.kusu.oita.jp/>

第132号

2019 8.15



平成31年3月にカウベルランドくすの地権者から土地使用料（過年度分を含む）の請求があったため、一般会計補正予算に計上されました。

可決
カウベルの土地使用料を

議案質疑

こんなことを
聞きました

「予算額」

・過年度分の賠償金（賃料相当損害金）615万2千円

・現年度分の不動産借上料（賃貸借料）164万8千円

「主な質疑」

なぜ賃貸契約を結ぶのか

問 金額の積算根拠と賃貸借契約を結ぶことでどのような影響が発生するのか。

答 不動産鑑定額の年額約203万円を基に月額に割戻した金額を積算しています。契約を結ぶことで玖珠町として施設を使用できる環境整備を図りつつ、今後の方針を検討していくことができます。

問 不動産鑑定額の203万円を基本にしているとのことですが、建物だけなのか全体の鑑定額なのか。

答 建物だけでなく施設の入り口から草地を含む、施設全体の面積で鑑定額を計算しています。

問 なぜこの時期に賃貸借契約を結ぶことになったのか。

答 土地の前所有者が平成28年12月に佐賀県の業者へ土地を売却したため、新たな地権者と土地の賃貸借又は買取について交渉を行ってきましたが、金額の折り合いがつかなかったため、地権者の了解のもと不動産鑑定を行ってききました。その後、現在までに土地の賃貸借契約ができていないため、7月から賃貸借契約を締結したいと考え、補正予算を計上しました。

問 町が自由に使用できていない土地に対し、使用料を支払わなければならないのか。

答 所有者の土地の上に町の物件が立っており、所有者が土地を活用できない状況となっているため、その分の使用料は支払うと考えています。

今後の活用は？

予 算 常任委員会

こんなことを
審議しました

ふるさと融資事業



民間企業への設備投資にかかる費用を貸付
3,600万円

「主な質疑」

問 融資期間はいつまでか。

答 据置期間を含む15年以内になっ
ています。希望は15年で
申請が出ています。

補正予算額 5334万円

令和元年度 一般会計補正予算（第1号）は、規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ
5334万円を増額し、歳入歳出それぞれ87億1334万円とするものです。

カウベルランドくす基金事
業費

内容については2ページを参照。

小学校施設管理費

小田小学校の
ポンプ改修・
八幡小学校の
スポットクーラー
購入経費
299万3千円



「主な質疑」

問 スポットクーラーの利用期間
後の活用はどうするのか。

答 選挙投票所、災害避難所等で
活用を考えています。

小学校・幼稚園施設空調整
備の状況

「設置済み」

「夏季整備開始」

- ・森中央小学校
- ・日出生小学校
- ・塚脇小学校
- ・小野原分校
- ・小田小学校
- ・北山田小学校
- ・古後小学校
- ・八幡小学校
- ・森幼稚園

「未設置」

未設置の八幡小学校の対応につい
て

「状況」

移転工事にかかる国交付金が
不採択となっているため、移転
の目処が立たず空調の整備にも
遅れが生じています。

「今後の対応」

移転先である旧八幡中学校の
空調整備は交付金採択されてい
ることから、空調整備を先行実
施する方針です。

所管事務調査

全議員で現地調査を行いました。



メルヘンの森ホッケー場の
水道施設の調査



新栄合板工業株式会社の
現地調査

総務建設農林 常任委員会

こんなことを
審議しました

使用料が上がります

10月1日より消費税が10%に増税される事に伴い町の各施設の水道光熱費、保守点検費等の増税分を使用料等に適正に反映させるため、関係条例の改正をするものです。

使用料が変わらない施設



豊後森藩資料館



豊後森機関庫ミュージアム



久留島武彦記念館

「主な質疑」

問 使用料が上がっていない施設があるがなぜか。

答 久留島武彦記念館、豊後森機関庫ミュージアム、豊後森藩資料館については、平成29年4月以降にできたもので、消費税増税分を見込んだ使用料で設定しています。

問 町民は消費税増税で生活に負担がかかるが、使用料の据え置きは考えられないか。

答 全ての町民が等しく使用するものではないため、施設の使用者に負担をしていただくべき性質のものと考えています。

使用料が変わる主な施設



メルサンホール（町民ホール）
改正後 50,600円 / 日



B & G第一体育館
改正後 220円 / 時間



わらべの館（大座敷）
改正後 660円 / 時間



森自治会館（集会室）
改正後 440円 / 時間



総合運動公園（野球場）
改正後 880円 / 時間



玖珠自治会館（集会室）
改正後 440円 / 時間

その他の施設の利用料につきましては各施設へお問い合わせください。

企画民生教育 常任委員会

こんなことを
審議しました

給食用オーブンを購入

学校給食用備品スチームコンベクションオーブンを購入。

①品名

- ・スチームコンベクション
オーブン……………3台
- ・ラックカート……………5台

②契約金

1036万8千円

③工期

令和元年8月20日まで



安心・安全な学校給食



被災者の返済負担を軽減

災害援護資金の貸付利率を引き下げ、保証人に関する事項等を改正。

「目的」

災害援護資金の貸付利率について、市町村の政策判断に基づき、低い利率での貸付が可能となり、被災者の返済負担を軽減し、支援の充実強化を目的としています。

①災害援護資金の貸付利率を

3%↓3%以内に変更

②保証人がいる場合…無利子

保証人がいない場合…利率1.5%

③償還期間

10年

(据置期間3年)



教育環境の改善

少人数学級を推進するとともに、複式学級を解消すること、及び義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に還元するとともに、制度の拡充を行うことの見解書の提出を請願するものです。



「状況説明」

紹介議員より、意見書を地方から国の関係機関へ提出することで、複式学級や少人数学級において、これ以上の制度改定が行われずに何とか現状を維持できているため、意見書提出による成果は出ているとの説明がありました。

「審査結果」

全会一致で採択し、意見書を提出することにしました。(意見書の内容については6ページを参照)

報告 基地対策 特別委員会

令和元年第2回玖珠町議会定例会において、基地対策特別委員会に閉会中の継続調査とした件について、その結果を報告します。

6月21日、執行部出席のもと委員会を開催しました。

一、執行部より経過報告

基地対策についての経過報告及び6月に九州防衛局長宛に日出生台演習場問題協議会が提出した要望書についての説明がありました。

二、日出生台地区住民との意見交換

九州防衛局、陸上自衛隊西部方面総監部、防衛省への陳情について、日出生台地区住民の意見を反映させるため8月上旬に意見交換会を行うこととしました。

三、要請行動

日出生台地区住民との意見交換後、九州防衛局、陸上自衛隊西部方面総監部、防衛省へ陳情、要望に行くこととしました。

四、玖珠駐屯地司令表敬訪問

基地対策特別委員会終了後、玖珠駐屯地司令へ新任の挨拶を行いました。

基地対策特別委員

委員長	藤本勝美
副委員長	細井良則
委員	松下善法
委員	宿利忠明
委員	河野博文
委員	秦時雄
委員	石井龍文



6月21日玖珠駐屯地司令表敬訪問

意見書の提出

国へ意見書を提出

少人数学級推進・複式解消など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元及び制度の拡充を求める意見書

「意見書の内容」

①子どもたちの教育環境改善のために、少人数学級を推進するとともに複式学級を解消すること。

②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元するとともに、制度の拡充を行うこと。



新たな過疎対策法の制定に関する意見書

「意見書の内容」

現行の過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要であることから、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。



議員派遣

町民の安心・安全を
守りたい

令和元年6月4日、九重町粟野河原運動公園において大規模な土砂災害を想定した、玖珠郡合同防災訓練が行われました。

災害時における各機関の迅速かつ適切な連携を図ることを目的として、玖珠・九重両町、自衛隊、警察、消防など17機関・団体が、被害状況の情報収集、対策本部会議、通行不能道路の土砂の除去、土砂埋没車両や倒壊家屋から要救助者の救助搬送、独立地域へ救援物資搬送などの訓練が行われました。

大切な命を救出せよ



安心して
住み続けられる社会

地域包括ケアシステム構築に向けた研修会

6月25日「いくつになっても元気でいきいき！生活を楽に人生を楽しくする介護予防」を演題に（株）ライフリーの佐藤孝臣氏を講師に、議員と関係職員を対象に研修会が開催されました。

今後ますます進んでいく高齢化社会で、病気や介護が必要になっても安心して住み続けられる地域づくりや体制を確立し、健康寿命社会を実現するためには、町や地域が介護予防に果たすあり方が問われる研修会となりました。



議会・議員の役割を学ぶ

新人議員の研修参加

議会の役割と仕組みを学ぶため、6月28日（金）日出町役場において、姫島村、日出町、玖珠町、九重町の新人議員12名参加で研修会が行われました。

講師に内田一夫氏を迎え「議会の役割と仕組みについて」と題し講演を受けました。

研修の基礎知識を生かし今後の議会活動に取り組みます。



読まれ、伝わる
広報誌を目指して

7月10日、議会広報特別委員会委員7名で、町村議会広報クリニックに参加しました。

前回発行された広報誌を評価し、より良い議会だよりを住民に届けようとするものです。

議会広報の意義や目的、広報の基本と編集の手法を学び、議会への関心を高めるための情報発信として、貴重な研修となりました。

「作成時のポイント」

- ・住民の声が議会に届いているか
- ・議場の状況が伝わっているか
- ・見出しや写真を見ればわかる内容か
- ・住民に参加を促しているか



5月臨時議会で決まったこと

開催日：5月8日

専決処分案件

全：全員賛成

案 件 名	付託	議決月日	結 果	
玖珠町税条例等の一部を改正する条例	—	R元/5/8	全	承認
玖珠町税特別措置条例の一部を改正する条例	—	R元/5/8	全	承認
玖珠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	—	R元/5/8	全	承認
玖珠町介護保険条例の一部を改正する条例	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町一般会計補正予算（第7号）	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町簡易水道特別会計補正予算（第5号）	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	—	R元/5/8	全	承認
平成30年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	—	R元/5/8	全	承認

人事案件

案 件 名	付託	議決月日	結 果	
玖珠町監査委員の選任 議員の内から選任される監査委員の任期が満了したため再度選任するものです。	—	R元/5/8	全	同意

※専決処分とは？

議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意思決定を行うことです。

6月議会で決まったこと

開催日：6月10日～6月21日

全：全員賛成

多：賛成多数

案 件 名	付 託	議決月日	結 果		頁
消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	総務建設農林	R元 / 6/21	全	可決	P 4
玖珠町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	企画民生教育	R元 / 6/21	多	可決	P 5
令和元年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 学校給食用備品購入の物品購入契約	企画民生教育	R元 / 6/21	全	可決	P 5
令和元年度玖珠町一般会計補正予算（第1号）	予 算	R元 / 6/21	全	可決	P 3

賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

	横山	衛藤	河島	細井	松下	小幡	松本	大野	宿利	河野	秦	高田	藤本	石井
玖珠町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

請 願

案 件 名	付 託	議決月日	結 果		頁
少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書	企画民生教育	R元 / 6/21	全	採択	P 5

規 程

案 件 名	議決年月日	結 果		頁
玖珠町議会運営委員会規程の一部改正	R元 / 6/21	全	可決	—

意 見 書

案 件 名	議決年月日	結 果		頁
少人数学級推進・複式解消など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充を求める意見書	R元 / 6/21	全	可決	P 6
新たな過疎対策の制定に関する意見書	R元 / 6/21	全	可決	P 6

町政を問う

一般質問

※一般質問とは議員がその町村の行財政全般にわたって
執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

人事異動での影響は



大野 元秀

問

今回の人事異動で町民にとって、一時的に不都合になっていないのか。特に住民サービスの低下につながっていないのか。

答（総務課長）

事務引継書を作成し、適切に事務を引き継ぐよう課長会議等で指示をしています。各課においては、主幹会議や班会議を行う事により相互に確認をしていますので、一時的に事務処理に時間が掛かると思いますが、適切に処理をされているものと考えています。

問

町民からの意見、要望の引き継ぎは行われているのか。

答（総務課長）

意見、要望については多種多様

な案件があり、職員が複数で対応する事を心掛けたいと考えています。

要望書という形で出てきたものについては、受付を総務課で一本化して、その後担当課で内容を確認し対策について検討しているところです。

口頭での意見、また最近では電話やメールでの意見や要望を頂く事が多くなっていますが書類に残す事が必要だと考えていますのでシステム化もしくはマニュアル化を行って、適正に引き継げるようにしたいと考えています。





河島 公司

将来ビジョン活用計画をもつて

問

町の課題や問題解決のため、町長の町づくりの原点は議論であるとはどういうことか。

答（町長）

議論で相互理解が深まり一緒に良い町づくりを進めるため、住民参加型のワークショップの開催など自由に議論できる機会を設けたところです。

問

5年10年先を見据えた行政運営が大事であり、童話の里を根幹に町づくりを進めるべきと考えるが、町の将来ビジョンは。

答（町長）

自治体の将来ビジョンについて手腕が問われる時代になっています。童話の里づくりを基軸にしたプランニングが重要だと思います。

問

基本方針でハードからソフトへ

とあるが、文化施設を活かした観光振興は。

答（町長）

大変厳しい財政状況ですが地域振興活性化を停滞させることはできません。観光振興も大変重要なキーワードで、提案について工夫しながら多種多様な受け入れ体制を構築していきたいと考えています。

問

総合運動公園を拠点としたスポーツ交流で活性化に繋げていくべきと考えるが町長の考えは。

答（町長）

私もまさに同感で、経済効果は非常に大きいものと思います。

その他の質問

一、少子高齢化について
一、健康づくり（健康ウォーク）について



横山 弘康

新総合計画での人口減少対策は

問

人口減少により、地域の崩壊や集落機能の低下等様々な弊害が指摘されている。第5次総合計画での人口減少対策の総括と、その結果を今後の第6次総合計画へどのように反映しようとしているのか。

答（企画商工観光課長）

第5次総合計画の中から人口減少と地方創生に特化した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、企業誘致、新規就農者支援、子育て支援、移住受け入れ態勢の強化等に取り組んできて一定の成果をみています。町では、2040年人口を1万1千人以上を目標としており、第6次総合計画では、第5次の検証と多様な住民意見を得る機会を持つて策定します。

安心安全な自主防災組織へ

問

自主防災組織の重要性が指摘されているが、町内の自主防災組織の設置数は。

答（総務課長）

自治区等単位の自主防災組織として活動しているものは町内にはありません。

問

早急に設置に向けた啓発活動をするべきではないか。また、自主防災組織では防災知識を有する防災士の役割は大きく、防災士会が各地区で設置されているが、防災士会との連携、啓発のため、防災訓練等に今後案内をするのか。

答（総務課長）

次年度より各地区防災士会の代表者を防災訓練等に案内するようになります。





河野 博文

町民の福祉施策

問

重度心身障がい者医療費助成が大分市では3級までだが玖珠町も拡大できないか。

答（町長）

県の補助事業であり、玖珠町では厳しい状況です。

問

47都道府県のうち22の自治体で3級まで拡大している。大分県に働きかけはしないか。

答（町長）

町村会等で協議をしてみることから始めます。

問

子育て支援策として県内3市が実施している高校生までの医療費無償化できないか伺う。

答（住民課長）

高校生までの医療費無償化は、財源が厳しい中だが、実施に向けて財源確保等の課題解決に、取り組んで参ります。

ホッケー場水道施設の早急な対応

問

水が無く生徒や保護者等関係者が施設やトイレに自分達で水を運び苦労している。大会もあるが解決できないか。

答（社会教育課長）

雨水等の自然水を利用しています。ウォーターベースの人工芝へ散水の為、貯水量が安定してなく、大会には散水車等の借り上げや仮設トイレ設置で対応を考えています。

問

この状況を早急に考えてほしいが町長の考えは。

答（町長）

多くの方に利用していただくためにトイレ等の水回りは不可欠なので対策を考えます。

その他の質問

※星翔中学校の通学路等の安全対策について



ホッケー場トイレ内の様子



細井 良則

不登校の現状とその対策

問

町の不登校の状況はどうなっているか。

答（学校教育課長）

町の不登校の現状ですが、平成28年度が10名、平成29年度が16名で、平成30年度が17名です。

問

不登校の児童生徒、保護者に寄り添った支援計画の内容は。

答（学校教育課長）

不登校の子どもに対しましては、各学校において、担任、学年部職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが家庭訪問を行い、児童生徒、保護者との面談等を通して本人の状況を把握したり、保護者との連携を深めたりしながら適切な対応をするように努めています。また、関係機関との連携を取りながら、学校復帰に向けた取り組みも進めています。

不登校の相談窓口

問

わかくさの広場の活動内容と相談員、指導員の支援体制は。

答（学校教育課長）

活動としては、教育相談と適応指導教室の2つの活動をしています。教育相談としては、2名の相談員を常駐させて、月水金10時から夕方5時まで、電話または手紙、来室による教育相談を受けています。

適応指導教室の方ですが、さまざまな理由で学校にいけない児童生徒たちの学校復帰を目指して、学習活動、野外活動、スポーツ活動など学校復帰に向けての取り組みを進めています。

問

中学校のスクールバスの空き時間を利用して送迎ができないか。

答（学校教育課長）

不登校を抱える保護者等は、なかなか送迎が出来なく過去断念したこともあり、保護者からの強い要望等があればスクールバス等、個別に協議も考えたいと思います。

その他の質問

一、学校教育について
一、いじめの現状と対策について



衛藤 和敏

有機農業を確立せよ

問

現在、安心安全な健康食志向が強まり、有機野菜やオーガニック野菜が求められる時代になっている。玖珠町の農業政策を考えた時、有機野菜の産地化が最も有効と思われるが、考えはあるのか。

答（農林課長）

県では第2次大分県有機農業推進計画に基づいて推進しています。玖珠町では計画策定は有りません。第5次総合計画の中で、畜産農家と連携し、堆肥利用の土づくりの積極的推進を掲げています。

問

有機野菜産地化を目的とした堆肥センターが必要と思われるが、考えはあるのか。

答（町長）

町の堆肥センターにおいて県外優良事例を参考に、付加価値化し、町内の野菜栽培での利用拡大に向け理想に近づけるように研究検討を進めたいと思います。

「玖珠米ひとめぼれ」販売強化

問

3年連続特Aを獲得した「玖珠米ひとめぼれ」だが、まだ農家の所得向上につながっていない。どのように販売するか。

答

J A、西部振興局、玖珠九重両町で構成する「良食米プロジェクト」で有利販売、所得向上対策を強化しているところです。

その他の質問

- 一、令和最初の議会に於いて町長の所信は。
- 一、ボランティア受入れ体制は十分か。



秦 時雄

“ため池”の管理体制

問

町のため池の現況と管理体制の現状は。

答（農林課長）

農業用ため池台帳に登録されているため池が50箇所あり、その内24箇所が決壊した場合に、人的被害を与える恐れがある“防災重点ため池”に指定されており、ため池ハザードマップを作成し、関係住民に周知しています。昨年の西日本豪雨を受け、国の指導によるため池緊急点検を実施しました。

その結果、応急措置が必要な箇所は無いとの報告を受けています。現在の農業用ため池について貯水していない又、農業用水に使用していないため池は19箇所あります。町はため池廃止候補リストを作成しており、現地の状況調査、

関係者等と協議を行い、ため池廃止事業を今後計画的に進めていきます。

山林伐採の指導管理

問

町は監督責任者として、森林所有者や伐採業者に対する指導は。

答（農林課長）

町面積の70%を森林が占めており、森林伐採及び伐採後の造林については森林法に基づき、市町村への届け出となっています。その際に町の森林計画と合致するかを見て、許可等を出しています。町の森林整備計画に合致しない伐採計画又は造林方法等は、森林法の中で、伐採の中止や伐採後の造林の命令等を、町が行うことが出来る様になっています。

その他の質問

- 一、選挙事務について（円滑な投票）
- 改正障害者基本法
- 一、災害など危険度の高い法定外公共物（里道・水路）の管理

“ガンバリよるばい”

今回(132号)から表紙と最終面で
町で活き活きと活動している
社会教育団体を紹介するコーナー

今回はラグビーワールドカップにちなみ 玖珠クラブ&玖珠少年ラグビースクール



玖珠クラブ：監督 佐々木昌文（選手45名）



玖珠少年ラグビースクール：校長 繁田博之
選手（中学生16名・小学生34名）

〈チーム紹介〉

モットー：EXCEED(エクシード)＝常に各々の現在
値を超える・上回る、練習は裏切らない！

創 部：1959年

主な成績：クラブ・実業団九州大会優勝（2015年）
九州トップリーグ昇格（2016年）
クラブ全国大会出場（2017年）
県民体育大会優勝（2019年）

活動内容：チームトレーニング、普及活動
地域イベントへの参加

練習日時：毎週火・金曜日（18：45～21：45）

場所：玖珠町総合運動公園

今年の目標 全国大会出場

問い合わせ Facebook・Instagramより
玖珠ラグビーフットボールクラブで検索
又は総合運動公園にお問い合わせください。

〈チーム紹介〉

モットー：自ら考えて行動を起こす。

仲間のために体を張る。

すべての時間はゲームに
つながっている。

創 部：1997年

活動内容：通常練習

大分県・九州協会主催大会参加

各種ラグビーフェスティバルへの参加

練習日時：毎週土・日曜日（9：30～12：00）

場所：主に玖珠町総合運動公園

今年の目標 トライドリームカップ出場

問い合わせ Facebookより
玖珠少年ラグビースクールで検索



〈コメント〉

全国大会出場を目標に年間を通して
練習を頑張っています。9月8日に玖
珠町総合運動公園で公式戦があるの
で、是非観戦にお越し下さい。

（主将：藤原祐樹）

〈コメント〉

ぼくは日本代表になって世界一にな
りたいです。そのための今年の目標は
トライドリームカップに出ることです。
ぼく達もがんばるので日本代表にもが
んばってほしいです。（主将：上野大慍）



ラグビーワールド カップPR

世界最強のニュージーランド、ランキング2位のウェールズ
など多くのトップチームが大分で試合をします。その試合をよ
り楽しむため、ラグビーボールに触ってみませんか！ラグビー
スクール、玖珠クラブでいつでもお待ちしております。



委員 委員 委員 委員 委員 委員
員 員 員 員 員 員
細井 衛藤 横山 松本 小幡 河野
良和 弘由 幸公 元
則敏 康美 範司 秀

「議会広報特別委員会」



6月議会の傍聴者数は

41人です。

議会の傍聴にお越し下さい。

次回の定例会は**9月**です。